

南一本木自治会

秋祭り



一本木秋祭り

秋祭りは、南一本木自治会と北一本木自治会が合同で開催する伝統あるお祭り。催し物として、さんさ踊り、お神輿、さらに、プロによる歌唱や、自衛隊による演奏が披露される。また、昔は相撲大会も行われていた。

秋祭りで披露されるさんさ踊りについては、昔、盛岡でさんさ踊りの活動をしていた方々が、一本木中学校の児童達に、学校終わりに指導を行っている。その努力が実り、県の代表として全国大会に出場するほどの実力となっている。

祭りの後には、一本木地区コミュニティセンターに集まり、年代ごとに踊りなど出し物を行う。これには、老若男女問わず参加し、祭り本番に負けない盛り上がりを見せている。

お神輿による催しについては、交通安全協会と祭りの実行委員、そして地域の方々の協力により、道路が狭いにも関わらず、安全に配慮した運営を何十年と続けることができている。

近年は新型コロナウイルスの影響により、開催が困難となってしまっているため、一刻も早い、秋祭りによる盛り上がりの復活が望まれている。

自衛隊との交流

近年は新型コロナウイルスの影響で、開催自粛となっているが、自衛隊との交流が1年に2回行

われている。交流の内容としては、自衛隊の中での総会と、一本木地区コミュニティセンターでのそば打ちを行っている。こういった交流を古くから続けているおかげで、地域として自衛隊に関する苦情は無く、自衛隊の方々と良い関係を築くことができている。

スクールガード

防犯交通においても、一本木地区防犯交通安全協会として、南一本木自治会と北一本木自治会が合同で続けており、これにより表彰された実績もある。特徴としては、スクールガードとして決められた方が通学路に立って見守りをするのではなく、地域の方々が畑仕事をしながら子供たちを見守ったり、自衛隊の方をお願いし、ランニング中などに不審な人がいないかを監視したりという日常生活の延長線上で、子どもたちの安全を守るような取り組みを行っている。この取り組みのおかげで、最近は子どもに関する交通事故が無くなってきている。

今後の展望

地区の人口減少・高齢化により、今後の自治会運営が難しくなってくる事が予想されるため、同級生単位で役員を固めるなど、信頼関係がすでに築かれており、情勢に合った運営のしやすい体制を取っていきたいと考えている。また、それに伴い、自治会活動の認知、そして地域の皆さんが自治会運営に協力したいと思えるような活動に取り組んでいきたい。



左から角掛節生氏(前事務局)、角掛忠男氏(前自治会長)、岩井雅之氏(自治会長)、取材時撮影